工業っ子

No. 90
—発行日—
2013. 11. 01
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

「工業展」準備着々!!

三年に一度!

いよいよ目の前に迫った工業展!三年に一度の開催ということでどこも気合いの入り方が違います。ということで、各学科と各部に工業展についてインタビューをしてきました!

【各学科インタビュー】
①見どころ
②販売はありますか
【各部インタビュー】
A—何をしますか
B—見どころ
C—部活のPR

龍踊りに乗ろう!
機械システム科
①龍踊り列車／模型船の浸水式。
②印鑑と文鎮の販売。

化学反応にワクワク
工業化学科
①ドライアイスの実験／手作りアイスクリーム。
②石鹸、ハンドクリーム／鏡／ワックス　など。

電気の技能を見せます
電気科
①第一種電気工事の技能試験課題を作って展示。
②販売は特になし。

木工、実験もあるよ!
建築科
①木工製品の販売、コンクリートなどを使う実験。
②木製ベンチ、ヒノキで作ったすのこ。

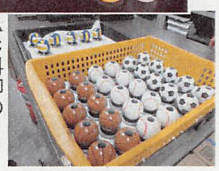
▲セットでいかが?(1科)

作って楽しい参加型も
インテリア科
①実習の内容を展示する。
②ミニテーブル&イス。

おもちゃいっぱい!
電子工学科
①全部!
②販売はなし。

エンターテイメント
情報技術科
①六棟全教室を使ったエンターテインメント。
②販売→ポップコーン。

ゴーゴーゴー!!!
機械科
①遊具／ホバークラフト／鋳造品展示／機械加工品の展示／販売。
②カサ立て／ミニチリトリ／文鎮型ペン立てなど。


▲C科印の…!
▲種類豊富なペン立て(M科)

科別ココ見て!一押しポイント

M→グランドを走るゴーカート
P→模型船の進水式
E→ストラックアウトゲーム
AC→実験
A→木製ベンチと、ヒノキで作ったすのこ
I→参加型のおもちゃ製作
D→電子回路を使った玩具シリーズ。UFOキャッチャーなど
J→人が乗れるラジコン&光線銃による射的

部活動編

和のおもてなし
茶道部
A—お茶会。
B—お点前と和菓子。
C—部員が個性豊かなので楽しい部活。でもお点前は真面目に。

不思議の扉
建築研究部
A—どこでもドアを作る。
B—ドアは開くが通れない。
C—建築に興味がある人募集中!

見て見て!
電気通信部
A—電子回路を使ったおもちゃ展示。
B—ストラックアウト。
C—マイナーな部活、やってる事は本格的。

トトロ!
デザイン研究部
A—二分の一トトロの展示／木製車の販売。
B—トトロ。
C—やりたい事ができる、不可能のない部活。

身近な科楽
科学部
A—紙コップロケット射的／竜巻発生装置／ペットボトルロケットなど。
B—身近なもので出来るいろんな実験や遊び。
C—楽しい実験がいっぱいできます。入部歓迎!

木のぬくもり…
インテリア科専門技術部
A—木で自分たちが作ってきたものや授業中に作った作品の販売。
B—一人ひとりの個性が出ていて木材のぬくもりが感じられる。
C—老若男女楽しんでもらえるはず。是非一度来てみてください。

幻想的な世界へ…
美術部
A—工業展のOPムービー作成／日々の作品展示／栞やカレンダーの販売。
B—テーマ「夜の美術館」。
C—幻想的な世界へ誘います。どうぞいらしてください。

super8!
放送部
A—物理室で映像の上映。
B—工業展オープニング「super8」
C—部員それぞれが仕事を頑張ってくれました!是非見にきてください。

今年は洋楽で
英語部
A—放送で洋楽を流す。
B—生徒が選んだ名曲が聴けます。
C—のんびり活動中。

ソロパートにも注目!
吹奏楽部
A—演奏。曲名は秘密!
B—とあるゲストを呼んでいます。
C—みんなが笑顔になれるような音楽を演奏します。ぜひ楽しんで。

対局へどうぞ!
囲碁将棋同好会
A—将棋での対局。
B—自由対局で、気ままに将棋ができる。
C—盤上の熱き戦い!

募金お願いします
JRC同好会
A—活動新聞の展示／赤十字社パンフレット配布。
B—募金箱を設置します。
C—来週の街歩きごろく大会に参加します。

折りバラ、写真見に来て
新聞部
A—拡大新聞展示など。
B—折り薔薇アート／写真展示。
C—やりがいしかありません!コミュニケーション能力が身につきます。

工業展はもう目前!楽しんでいきましょう。

今日の一枚
～一度きり～

▼コツコツ作業を進める

だんだん朝晩の寒さが厳しくなり、布団の誘惑がさらに増したように感じます。
さて、工業展が目の前に迫っています。三年に一度の工業展。科も部活もクラスも例年以上に気合いが入っているのではないでしょうか。活動時間の長い新聞部ですが工業展前の今、私たちと同じ時間帯に帰っている生徒をみかけることもしばしば。忘れる事のできない思い出になりそうです。
(畠道)

青春日記

やって来ました十一月。木枯らし、冬瓜、夜の静けさ…三日ぶりです山田です。先日、登校中に自動車と甘い接触を果たしたり、ウォークマンを洗濯したりしましたが、私は元気です。
新たな月の始まりは後の極寒を告げるような寒く厳しいものとなりました。そして迫って来る眠気、曇りの魔の手。電車に乗った時、外との温度差でものみごとに白く染まってしまう恐怖。周囲の嘲笑が目に見えるかのようです。お先真っ暗…。これが私の運命か。
さあ、いよいよ明日は工業展。展示にステージ発表、バザーもいろいろ。体育祭とは別の楽しさを味わえる高校の目玉行事。
校外からのお客さまも招き入れ、三年に一度の工業展の開催だ!各科からは工業高校ならではのものが用意されているようで、充実した二日間となると思います。
しかし、大がかりなイベントにはそれなりの準備も必要です。我が部も然り。それなのに展示の準備もあれこれまだまだあるのに、その一方でこの一日記の執筆も書いては次、書いては次の無限ループ状態。もうね、アホかと。増えるワカメかと。そんなことを顧問に訴えても国語教師ならではの言いくるめ術で負かされる毎日。ほんま…。
ただ、その忙しさのおかげで周囲からたくさんの評価を得ていることもまた事実。一新聞部で慣れていれば、就職してからの残業なんて楽勝だぜ☆」という先輩方のお話を信じ、この記事も卒業まで書き続けようと思います。
(山田)

身近なところに「文化」

最近、「和食」食べていますか。私は祖母の作る煮物が好きです。特に「たけのこの煮物」が。少し甘めの出汁が、しゃきしゃきとしたたけのこと絡み、ご飯との相性も抜群です。これまで日本で育った誰もが食べてきたであろうお米、味噌汁、煮物等の和食。昔は三食が全て和食だったのに対し、今ではファストフード店や洋食店の増加に伴い、和食を食べる機会がだんだんと減ってきているように思えます。
確かに、ファストフード等は手軽で食べやすく、大勢の人々から好まれる魅力的なものです。しかし和食にも良いところはたくさんあります。季節によってそれぞれの「旬」の食材が使われること、ヘルシーで健康に良いこと等…。そのため、海外においても好んで食されるようになってきています。
今、伝統の食文化を残すために「和食」の世界無形文化遺産への登録が進んでいます。順調に行けば二〇一四年には登録される予定だそうです。シリアルなど牛乳を入れるだけで簡単に作れる手軽な食事は時間短縮にも繋がり一見便利に思えるでしょう。しかし、その分、家族との団欒が減り、会話も少なくなります。
時間をかけて食材を選び、出汁をとり、煮込んだり焼いたり、そして盛り付けをし、皆で楽しく食べる。食べる人のことを思って作り、人と語り、感謝しながら食べる食事。それができる心と時間の余裕を持つことも大切なのかも知れません。「和食」だけでなく、私たちが暮らす日本には改めて見直すと貴重な文化がもっとあります。身近なものだからこそ見逃しがちになっているものがないでしょうか。
(杉本)